

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成 18 年 12 月 14 日 (2006.12.14)

【公開番号】特開 2005-143609 (P2005-143609A)
 【公開日】平成 17 年 6 月 9 日 (2005.6.9)
 【年通号数】公開・登録公報 2005-022
 【出願番号】特願 2003-381910 (P2003-381910)
 【国際特許分類】

A 6 1 B 10/00 (2006.01)
G 0 1 N 21/17 (2006.01)
G 0 1 N 21/27 (2006.01)
G 0 1 N 21/35 (2006.01)
A 6 1 B 5/026 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 10/00 E
 A 6 1 B 10/00 F
 G 0 1 N 21/17 6 1 0
 G 0 1 N 21/27
 G 0 1 N 21/35 Z
 A 6 1 B 5/02 3 4 0 D

【手続補正書】
 【提出日】平成 18 年 10 月 31 日 (2006.10.31)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

被検者に対して課する刺激やタスクに対する応答を計測するため赤外領域の光を被検者に対して照射する照射手段と、前記被検体内部を通過した信号を検出する検出手段と、該検出結果を表示する表示手段を備えた光計測装置において、
 上記検出結果の中に含まれる信号成分とノイズ成分を分離するノイズ分離処理手段と、上記ノイズ分離処理後のデータを画像に構成する信号処理手段と、上記ノイズ分離処理後のデータを用いて上記画像を構成するための画像構成条件を入力する入力装置とを備え、前記表示手段は、上記入力装置からの入力される上記画像構成条件とノイズ分離処理後の上記構成画像を表示することを特徴とする光計測装置。

【請求項 2】

上記ノイズ分離処理は、少なくとも上記主成分分析と上記独立成分分析のうちのいずれかであり、上記表示手段は、上記入力装置に入力された上記主成分分析又は上記独立成分分析を表示することを特徴とする請求項 1 に記載の光計測装置。

【請求項 3】

上記主成分分析及び上記独立成分分析を実行させる場合、上記表示手段は、前記入力手段に入力された該実行順序を表示することを特徴とする請求項 2 に記載の光計測装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 0 9
 【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

上記目的を達成するために本発明では具体的に以下の手法を実現した。被検者に対して課する刺激やタスクに対する応答を計測するため赤外領域の光を被検者に対して照射する照射手段と、前記被検体内部を通過した信号を検出する検出手段と、該検出結果を表示する表示手段を備えた光計測装置において、上記検出結果の中に含まれる信号成分とノイズ成分を分離するノイズ分離処理手段と、上記ノイズ分離処理後のデータを画像に構成する信号処理手段と、上記ノイズ分離処理後のデータを用いて上記画像を構成するための画像構成条件を入力する入力装置とを備え、前記表示手段は、上記入力装置からの入力される上記画像構成条件とノイズ分離処理後の上記構成画像を表示する。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

上記ノイズ分離処理は、少なくとも上記主成分分析と上記独立成分分析のうちのいずれかであり、上記表示手段は、上記入力装置に入力された上記主成分分析又は上記独立成分分析を表示する。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

上記主成分分析及び上記独立成分分析を実行させる場合、上記表示手段は、前記入力手段に入力された該実行順序を表示する。